

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
人権・労働		【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・ミツウロコグループ企業倫理憲章・ミツウロコグループ人権方針に定められており、性別・年齢・障害・国籍・出身等の差別を防ぐ体制を構築している。						5.1 5.2 5.5							8.5 8.7 8.8			10.2 10.3				16.1 16.2 16.7	
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ミツウロコグループ企業倫理憲章・ミツウロコグループ人権方針に定められており、ハラスメントの相談および苦情窓口を設置している。						5.1 5.2 5.5							8.5 8.8							16.1	
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・36協定に労働時間の規定を設け、毎月労働時間の管理、長時間労働の防止に取り組んでいる。 ・シフト勤務やテレワーク勤務を導入し、多様な働き方を可能とする勤務体制を構築している。														8.5 8.8							
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・ミツウロコグループ企業倫理憲章・ミツウロコグループ人権方針に定められており、労働条件、配属、職務内容等において、日本人労働者との差別(違い)は行われていない。				4.4										8.7 8.8			10.2 10.3				
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・衛生委員会を設置し、衛生推進者を任命、労災発生防止に努め、社内インターネット等を活用して周知徹底している。								3						8							
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・法定のストレスチェック、グループ基準にもとづいた長時間労働による医師の面接指導を実施している ・復職支援を実施している ・希望者や長時間労働が続いている社員に対して、産業医との面談(メンタルヘルスカウンセリング含む)を実施している									3												
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・ミツウロコグループ企業倫理憲章・ミツウロコグループ人権方針に定められている他、次世代育成支援対策推進法及び女性活躍推進法にもとづいた行動計画を策定し「子育てサポート企業」として「くるみん」に認定されている。(2019年8月) ・埼玉県が推進する「多様な働き方実践企業」の認定制度において、埼玉県の多様な働き方実践企業として最上ランクの「プラチナ」に認定されている。(2022年6月)							5.1 5.5							8.5			10.2 10.3				
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割、スキルに応じた資格取得や外部講習の受講を実施している						4	5.5							8			9				
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・同一労働同一賃金等の原則に沿った規程の整備、ならびに運用する体制を構築している。							5.5							8.5			10.2 10.3				
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・ミツウロコグループホールディングス主導により、日本健康会議・経済産業省・日本経済新聞社が共同で特に優良な健康経営を実践している大企業・中小企業などの法人を顕彰する「健康経営優良法人2023 大規模法人部門(ホワイト500)」に、2019年以降4年連続で認定された。									3					8							
環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の分別を行い適正に処理をしている。法定通りの廃棄物処理を行いマニフェストの管理を行っている。																			11.6 12.4	14.1	
		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・事務所の電気使用量を記録している。														7.3						13	
		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・オール電化のビルのため、電気使用量から温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している														7.2 7.3					12.4	13.3	
		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	事業で有害化学物質の取り扱い無し。				3.9			6.3											11.6	12.4		
		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・社員の名刺にLIMEXを採用するなど、環境への影響が少ない製品を優先的に購入している							6.6														15
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・社内事務用品は詰替等をして再利用を行っている。廃棄物の分別を行い資源の再利用を実施している。 ・ペットボトルのキャップを回収し、「キャップの貯金箱推進ネットワーク」へ寄贈している。																				12.5	14.1	
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・節水等の実施 ・石灰石を主原料とした名刺(LIMEX素材)の使用による水資源の保全に努めている														6.4 6.6								

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・CSR活動として「きれいな信州環境美化運動」に参加している。				4								9		11	12		14	15		17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・「信州あいサポート活動」の登録を行い、活動に参加する予定。				4											11			14	15		17		
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ														8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念や経営目的を社内に掲示し、朝礼等の機会 で全社員に発信している。												8	9								17		
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・ミツウロコグループ企業倫理憲章に定められており、定期的に周知活動を行っている。																						16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・担当部門を定めている。																						16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、活動内容を共有している																						16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ミツウロコグループリスク管理規程によりリスクへの具体的対応方法を整備している。																							16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSR活動として「きれいな信州環境美化運動」に参加している。																							16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	ミツウロコグループ緊急事態対応規程に基づき事業継続計画を策定し、年2回訓練を実施している。															9		11			13		16	13.1
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ														8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）